

埼玉県総合リハビリテーションセンター障害者支援施設
地域連携推進会議 議事録

令和7年10月29日（水）
13：30～16：00

場 所：センター内大会議室

委 員：（利用者代表）A委員、（家族代表）B委員、（地域関係者）C委員、
（福祉に知見のある者）D委員

出席者：福祉局長ほか職員9名

1. 開会あいさつ

本日はお忙しい中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

本会議は、当施設が地域社会の一員として、利用者様お一人おひとりが安心して、その方らしい生活を送れるよう、質の高いサービス提供に不可欠な場です。

本会議が他の一般的な会議と大きく異なる点は、ご出席の皆様全員が「地域連携推進委員」として、実際に現場を訪問し、運営状況を直接ご確認いただく点にあります。皆様の率直なご意見や気づきが、新たな視点をもたらし、サービス向上に大きく貢献すると確信しております。

本日は、皆様からの率直なご意見やご提案を頂戴し、当施設のサービス改善に向けた実り多き議論となることを心より期待しております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2. 出席者紹介

3. 視察

（1）視察施設

- ・訓練棟（D棟、E棟、A棟）

自立訓練、視覚訓練、就労移行支援

- ・健康増進施設（体育館、プール）

体育訓練

- ・入所施設（A棟）

施設入所支援

（2）質疑応答

Q. とても広く各施設は別々の建物にあるため、利用者の移動が大変ではないか？

A. 移動も訓練の一つとして考えており、利用者からも受け入れられている。

Q. 生産訓練の成果品についての検品はどうしているのか？

A. 職員が行っている。

4. 議題

(1) 施設の概要

- ・「事業概要 令和7年度版（抜粋）」を用いて説明

(2) 施設・サービスの透明性の確保

①実績報告、事業計画、課題等

- ・令和6年度の実績や施設利用率、令和7年度の事業計画について説明

②経営状況

- ・令和6年度の収支等について説明

(3) 利用者の権利擁護

①利用者満足度調査

・令和6年12月に実施した「満足度調査（利用者アンケート）」を用いて説明

②利用者からの意見や苦情

- ・同調査の「自由記述」から意見や苦情について説明

③事故・インシデント等

- ・令和6年度に発生した件数、レベル等について説明
- ・研修会、虐待防止等について説明

5. 質疑応答等

D委員

Q. 入所している期間は平均どれくらいか？

A. 機能訓練利用の令和6年度退所者では平均468日である。

Q. 就労移行支援のアフターケアの期間はどれくらいか？

A. 退所後半年間は無料のアフターフォロー期間となる。希望があれば、その後最長3年間、就労定着支援のサービスが可能である。

Q. 法定雇用率が高くなったが、就労環境はどうか？

A. 求人はそれなりにあるが、高次脳機能障害と身体障害のある利用者が多いため、マッチングには苦労している。

C 委員

Q. 良い施設だが多くの県民に知られていない。施設の PR はどうしているのか？

A. 施設の紹介動画を配信しているほか、関係機関への訪問や各種会議での PR を行っている。

B 委員

- ・広々しており、利用者はストレスを感じることなく過ごせる。
- ・3月に息子が入所した。定例的に支援会議を開催し、目的や目標を把握しやすくわかりやすい。

Q. 入所の基準は？

A. 障害者手帳を持っている方と64歳までの方である。

A 委員

・訓練は大変ながらもなんとかやっている。おかげで入所前にいた病院でできなかったことができるようになった。車いすの操作もうまくなった。

D 委員

Q. 満足度調査にある意見や回答はどうフィードバックしているのか？

A. 予算や人力的な制限はあるが、対応できるものは対応している。また意見や回答は施設内に掲示している。

Q. 訪問訓練は行っているのか？

A. 視覚障害者への訪問訓練は行っているが、肢体不自由者へは行っていない。将来的には実施できればいいと思っている。

C 委員

Q. 障害を受容できない方は多い。県リハで自分の障害を受け入れるためのサポートで行っているものはあるか？

A. 訓練士や生活支援員が話を聞いたり、心理士がフォローする場合もある。また、同じ障害をお持ちの方同士でお話をした結果、心が軽くなる場合もある。